



さつき会広報誌

さつき

Vol. 17 号

発行年月/令和5年9月
編集発行/社会医療法人社団さつき会
社会福祉法人さつき会

特集

就任のご挨拶

- 新型コロナウイルスを振り返って
- 新任医師の紹介

職場 クローズアップ

- 精神科リハ課
- 地域サポート部門



(左上写真)夏の散歩、(左下写真)キャンパス、(右写真)光の庭

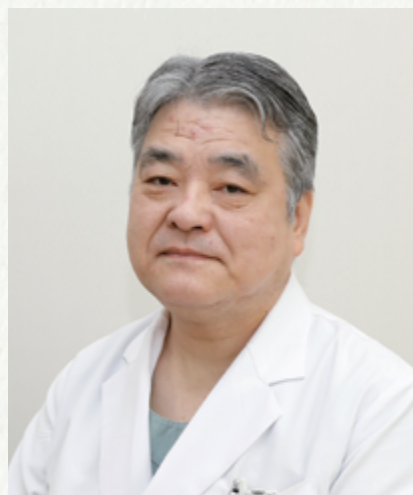
こちらの写真は職員からの公募で選ばれました

【撮影者:T.Yさん(職員家族)】

院長挨拶

袖ヶ浦さつき台病院
院長

きくち しゅういち
菊池 周一



平素より地域の皆様にはご理解ご協力を賜り深謝申し上げます。この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、5月にコロナが5類に移行して、当院でもコロナの入院治療、面会やレストラン、会合などが緩和されてきました。久保田の八幡神社の祭礼も10月に予定されており、久しぶりにほっとされた方も多かったのではないのでしょうか。8月上旬現在、電車ではマスク着用の方がかなり減りましたが、しかしコロナ感染はむしろ拡大傾向にあります。コロナにり患した方に聞きますと、5類になっても熱は39度に達し苦しかった、ということで、軽症だと言ってもウイルス自体は変わっておらず、7月の死亡者は千人を超えていることから油断大敵です。当院の発熱外来での陽性率も徐々に上昇しており他人ごとではありません。マスクを外すのは自己判断でよいとする時期が早すぎたのではないかという意見もありますので、どうぞ皆様お体にお気をつけいただきたいと思います。

コロナに限らず暗いニュースが多いなか、われわれはどこへ向かうのか、改めて考えますと、昨今の情報の良しあしをきちんと判断し、踊らされず、日常を丁寧にきちんと過ごすことが今大切だと考えております。困っている人がいれば手伝い、喜んでくれる人がいたら喜びをいっしょに感じられること、宮沢賢治の雨ニモマケズを引き合いに出すまでもなく、些細なことが大切なのだと思います。丁寧に毎日を過ごしてまいりたいと考えている今日この頃です。

当院は4月から看護部長、事務部長、カトレアンホーム施設長の着任、40人を超える新入職員を擁し新たに出発しています。6月には医療水準の指標となる機能評価も受審いたしました。これからも行き届かない面もあると思いますので、ぜひご教示いただき、地域の病院として鋭意努力してまいります所存です。皆様の温かいご支援を改めてお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症を振り返って

袖ヶ浦さつき台病院
感染制御実践看護師

おおこし さなえ
大越 真絵

新型コロナウイルス感染症の初確認から3年が経過しました。当院でも数回の集団発生を経験し、患者間や職員の感染などから感染対策に敏感になり対応してきました。現在は2類から5類へ移行し、行動制限が緩和されています。君津圏域内でも感染者は発生しており油断はできないと考えます。ワクチン接種や手洗い・手指衛生、人混みでのマスクの着用など生活に根づいた感染対策をタイミングよく実施し、新型コロナウイルス感染症とお付き合いする必要があります。院内感染を発生させない活動に取り組むために、病院職員だけでなく地域の皆様のご協力もお願いいたします。

表彰

きくち しゅういち
袖ヶ浦さつき台病院 院長 菊池 周一

特別支援教育の振興に対して 千葉県特別支援教育推進大会会長、実行委員長より感謝状

就任のご挨拶

袖ヶ浦さつき台病院
看護部長

か く
賀来 かわり



今年度より、栗原サキ子看護部長の後任として看護部長に就任いたしました、賀来かわりと申します。私は当院に平成24年に入職し、現在に至っております。4月から大役を引き継ぎ、重責に身の引き締まる思いで日々を過ごしております。

看護部では「社会の変化に柔軟に対応し、心温まる看護を提供します」という看護部の理念のもと、チーム医療を円滑にすすめ、安全、安心な看護・患者中心の看護の提供に努めております。又、創設者の一心一如の精神を引き継ぎ実践できる人材の育成を目指しております。人が育つためには、心理的安全性が確保された職場づくりが重要です。当院で働いている職員が「ここで働けて良かった」「このスタッフに会えてよかった」といえるよう職場環境を整えてまいります。又、当院へお越しの患者さんに「あなたに会えてよかった」「ここに来てよかった」と言ってもらえるよう院内環境を整えてまいります。

当院が、地域の中核病院として、地域包括ケアシステムの一旦を担い、地域に貢献できるよう努めてまいりたいと思っております。

もとより微力ではございますが、皆様のお力添えを頂き、職務に精励する所存です。ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

袖ヶ浦さつき台病院
管理事務部長

おい かわ かず のり
及川 和範



この度、事務部管理事務部長を務めることになりました及川和範(おいかわ かずのり)と申します。このような役職を担うことになり責任の重さを感じておりますが、袖ヶ浦さつき台病院が地域の拠点病院として、また皆様のニーズに的確に応えられ、地域の皆様から信頼され、愛される病院となるよう職員一丸となり取り組んでまいり所存ですので、今後ともどうかよろしくお願ひ申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

袖ヶ浦さつき台病院
医療事務部長

おか たか てる
岡 崇彰



この令和5年4月1日より事務部が管理事務部と医療事務部に分かれ、医療事務部長に就任いたしました岡 崇彰(おか たかてる)と申します。

当部は地域の皆様へ病院のサービス提供と医療支援を行うための外来・病棟・診療録管理事務・医療相談員で構成しています。

患者様の視点に立ち、丁寧、迅速、分かりやすい、満足いただける病院を目指して職員とともに誠心誠意職務に尽力いたす所存でございます。

どうか今後とも一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう心よりお願ひ申し上げます。

新任医師の紹介

- 1 専門領域 2 趣味 3 好きなことば 4 患者様への一言

いしい ひろき
石井 宏樹 医師

- 1 気分障害、精神科救急
- 2 オーディオブックを聞きながらドライブ
- 3 臨機応変
- 4 ベストな治療を提案できればと思います。

ながの あきのぶ
永野 顕信 医師

- 1 児童精神や認知症など
- 2 漫画など
- 3 和顔愛語
- 4 何か困りごとについてお手伝いできればと思います

しまだ ゆか
島田 侑佳 医師

- 1 精神科一般
- 2 ドラマ鑑賞
- 3 知的謙遜
- 4 より良い医療を提供できるよう心掛けます。

かどくら ゆうき
門倉 祐貴 医師

- 1 精神科一般
- 2 プロ野球観戦 阪神ファンです
- 3 病気を診ずして病人を診よ
- 4 患者様一人一人に合った治療を提供できるように精一杯努力します。

あおやぎ ゆうき
青柳 有希 医師

- 1 精神科一般
- 2 映画鑑賞、コスメ収集
- 3 特にないので募集中です。良い言葉があったら教えてください
- 4 患者さん一人一人にあった医療を提要できるように尽力致します。

もりき まい
森木 麻衣 医師

- 1 精神科一般
- 2 読書
- 3 一期一会
- 4 皆さまのお力になれるよう日々努めていきたいと思っています。

委員会 紹介 Vol. 01

医療の質向上委員会

委員長 いたくら だいすけ
板倉 大輔

当院の「医療の質向上委員会」の目的は「地域住民(患者)のニーズに沿った医療を安全に提供できる」とし、当院をご利用される方々に対して、よりよい医療の提供を目指しています。

当委員会の活動内容一部には、患者様からご意見を頂く「患者意見箱」や大規模なアンケート調査を行う「患者満足度調査」等を実施しており、前年度患者様から頂いたご意見は101件。アンケート調査「患者満足度調査」では528名の方にご参加を頂き、「安心できる病院」や「〇〇先生は良い先生」など職員にとって励みとなるご意見を頂いた一方で、環境や待ち時間、接遇などについて厳しいご指摘も頂きました。

皆様から頂戴するひとつひとつのご意見を大切に、日々運営や接遇など改善に向けて努力をしています。

患者様や当院をご利用される方々、働く職員が自由に意見でき、開かれた組織として発展し、よりよい病院・地域となれる様に、委員会活動を努力していきたいと考えています。



院内に設置している患者様の意見箱

精神科作業療法室

ほりうち あさよ
リハビリテーション部 精神科リハ課 課長補佐 **堀内 麻代**

当院の精神科病棟の入院患者様を対象に、「精神科作業療法」という「精神科リハビリテーション」を実施しています。病棟ホールや東棟5階の精神科作業療法室を活動場所とし、病棟毎の週間スケジュールに沿って、集団でのプログラムを実施しています。患者様ご本人の希望や目標に沿って作業や運動等の様々なプログラムへ利用して頂くことで、健康的な生活を送るための準備や退院後の生活の練習をしております。ご興味のある方は、主治医又は病棟看護師へご相談下さい。



精神科デイケア・ナイトケアたんぽぽ

みつまた ゆか
リハビリテーション部 精神科リハ課 主任 **三股 友香**

たんぽぽは、心療内科・精神科通院中の方が利用できるデイケア・ナイトケアで、様々な集団活動やプログラムを通じて、徐々に心と体を慣らしていくリハビリテーションの場です。「症状・日常生活の安定」「社会復帰」を目的とし、それぞれの目的に合わせた参加が行えます。また、相談の場としても多くの方に活用していただいています。

他院かかりつけの方でも利用することができます。お気軽にご相談ください。

■ お問い合わせ 0438-38-4407(9時～17時)



重度認知症患者デイケアゆずの里

てじま やすよ
リハビリテーション部 精神科リハ課 主任 **手島 安代**

ゆずの里は、さつき台病院内にある認知症のデイケア施設です。在宅生活をしている認知症の方が日帰りで通い、主に作業活動や運動をプログラムとして行っています。

「作業」や「運動」といった活動や、周囲の方々との交流の中で、楽しみややりがいを見つけ、認知症があっても少しでも生活がより良いものであるよう、そして住み慣れたご自宅での生活を支えていくことをゆずの里は目指しています。

■ お問い合わせ 0438-38-4408
(9時～17時)



地域生活サポート部門は、さつき台訪問看護ステーション、ケアセンターさつき、さつき会ケアマネセンターの3事業所で、さつき台病院リハケア棟1階にあります。自動ドアを入ると、左側にさつき会ケアマネセンター、さつき台訪問看護ステーションが同じフロアで、その奥右側にケアセンターさつきがあります。

この3事業所が連携を取りながら、病気や障がいがあっても安心して地域で生活できるようサポートしています。



さつき台訪問看護ステーション

なかはら おう こ
 所長 中原 桜子

訪問看護では、看護師や理学療法士等がご自宅に伺い、その方の生活に合わせたケアやリハビリテーションを行います。在宅での療養生活を支えるサービスの一つです。医師の指示にもとづき、地域の医療、福祉、介護サービスと連携して行います。

対象となる方は、在宅で療養される全ての方です。心身の不調で日常生活にお困りの方や、その家族に対して、症状安定に向けて支援いたします。必要時は24時間の電話相談や臨時訪問も行います。

安全に質の高いケアが提供できるよう、スタッフ一同頑張っております。

お気軽にお問い合わせください。

■ お問い合わせ 0438-64-1056



ケアセンターさつき

地域活動支援センター・指定相談事業所 きよかわ おり え
 センター長 清川 織恵

地域で生活している精神に障がいをお持ちの方や、ご家族の方々が安心して暮らすための支援をしています。

■ 日中どこかへ出かけ、生活リズムを整えたい。

■ 体調のよい時などに、気軽に行ける場所が欲しい。

ケアセンターさつきは、いつ来ても、いつ帰っても良い、一人ひとりの目標に合わせて利用することができる場所です。各種プログラムの実施や、電話・面談による相談も行っています。

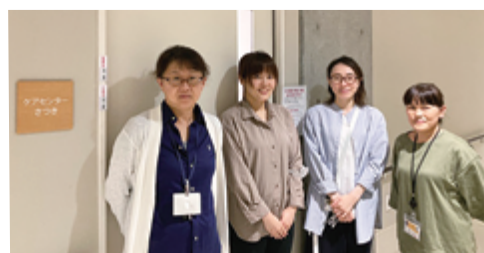
◆ 相談支援事業

多様化する障害福祉サービスの申請や利用に関する相談支援など、トータル的なサポートを行っています。

県と市より相談支援事業所の指定を受けています。

開所時間 月～土9:00～17:30

■ お問い合わせ 0438-60-1501



さつき会ケアマネセンター

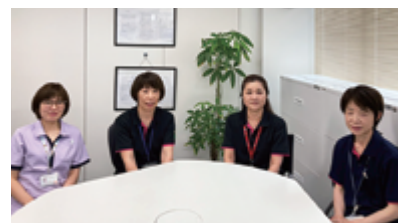
た ま る ゆ か
 所長 田丸 由香

介護保険を利用するためには、ケアプラン(居宅サービス計画書)の作成が必要のため、まずはケアマネジャーにご相談ください。

ご相談は無料です。ご状態やご希望を伺いながら、これからの生活を一緒に考えていきます。「自分らしく住み慣れた地域で暮らすこと」を目標に、様々なサービスをご提案し、調整させていただきます。

「介護保険を申請したい」「どんなサービスがあるの?」「退院後の生活が不安」「高齢になってきて、一人でできないことが多くなった、どうしよう?」「施設ってどんな所があるの?」などなど、分からないことや悩んでいることがあればご相談ください。

お電話でも直接来て頂いても大丈夫です。



■ お問い合わせ 0438-64-2245



社会福祉法人さつき会 カトレアンホーム
施設長

たかはし てつ お
高橋 哲夫



当カトレアンホームに長年お勤めになった佐藤甫夫先生が昨年11月にお辞めになり、代わりに施設長を仰せつかりました。以前はさつき台病院にて内科診療を担当させていただきましたが、今回縁あって施設長後任への話があり、亡くなられた矢田洋三先生にご恩もあり、お受けすることとしました。

医療から介護へと、仕事内容もかなり異質なものがあり、医療行為も制度上制限されています。全国の調査では在宅復帰率50%以上の超強化型老健施設が増加傾向であり、2019年度は老健の2割を超えてきているとのことですが、まだ特養化より抜け出していない施設も多いと聞いております。当施設も同様で、本来の設立目的である在宅復帰及び在宅支援が十分できているとは言えません。最も求められている在宅復帰率は20%にとどかず、ベッド回転率も10%に届きません。

行政の方針は決まっており、より強く在宅(自宅のみでなく居宅型施設も含め)復帰を進める方向となっています。回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟の設置も一部このためであろうと考えられます。

病院もベッド数削減とともに、機能分化を推進し、より短い入院日数が求められ、どんどん退院者を病院外に送り出す方針となっている反面、家庭での受け入れ困難な人々の受け入れ施設の整備が追いついていないようです。特に居宅型介護施設は種々様々多数増加していますが、ある推定では、この増加であっても受け入れ必要者の5%ほどの調査結果もあります。一方要介護重度の生涯受け入れ施設である特養は入所まで長期期間待機させられていますし、自治体方針で特養の設立制限もあるとのこと聞いています。

このような状況の中、「中間施設」、「地域包括ケアシステムのhub」といわれている老健施設はますます在宅方向へのシフトが求められ期待も強まってきています。基本をなすのはリハビリ機能の強化と、在宅支援の強化しかありません。インセンティブもこちらに誘導するようになっていられると思います。少なくとも行政の目指す方向にかじ取りを進めないと遅かれ早かれ、存続を問われる存在となるのではないのでしょうか。特に在宅復帰を進めるにはいくつかのハードルがあります。第一に在宅で困難のために老健に入所希望をした家族のうけいれ。維持期リハビリテーション充実のためのリハビリスタッフの確保。在宅支援の強化等様々です。外部条件としても、内部事情からしても急に変化は難しく、どこから改善していけば老健本来の目的を達せられるか、成功事例に学びつつ、施設全員で模索していく必要があると考えています。もちろんさつき会全体としても、病院からの患者受け皿としての機能はありますが、長期待機者が増えると当施設としての負担も増加しますので、全体として俯瞰する立場からの協力も必要です。

最初に始めるべきと考えているところは、施設職員全体での現状認識と、目指すべき方向の確認を共有することです。これから多くの困難が予想されますので、皆様方のますますのご理解とご支援ご協力をお願い申し上げます。



SATSUKI's
—さつきキッチン—
Kitchen

カルシウム豊富



鶏ときのこのミルク鍋

【材料(1人分)】

■ 鶏もも肉 …………… 60g	■ 牛乳 …………… 200cc
■ ぶなしめじ …………… 60g	■ 塩 …………… 少々
■ にんじん …………… 50g	■ こしょう …………… 少々
■ チンゲン菜 …………… 約4枚	■ コンソメ …………… 4g
■ 玉ねぎ …………… 1/4個	■ 水 …………… 350cc

【作りかた】

- ① 鍋に水とコンソメを入れる
 - ② 一口大に切った鶏もも肉、チンゲン菜、ぶなしめじ、にんじん、玉ねぎを鍋に入れて火にかける
 - ③ 食材に火が通ったら牛乳を入れる
 - ④ 塩こしょうで味を整えたら完成
- メにご飯を入れてミルク粥にしても美味しい!

◆ 栄養量栄養量(1人分) エネルギー 340kcal たんぱく質25.5g 脂質16.6g 炭水化物24.0g
カルシウム300g 食塩相当量2.2g

POINT

近年日本では骨粗鬆症の例が多く報告されています。不足しがちなカルシウムをたくさん摂れるメニューのご紹介です。牛乳を使用したスープの中にビタミンDが豊富なきのこを加えることでカルシウムの吸収を促してくれます。その他ビタミンを多く含む緑黄色野菜を入れて栄養と彩りをプラス!これからの寒い時期にからだを温めるメニューとしてもご賞味ください。

ありはらゆり
管理栄養士 在原 優里

さつき手帳

立秋を過ぎても残暑のきびしい毎日が続いている。脱水の患者さんが連日受診する。今年の台風も大型で、大きな被害が生じている。一方で地震にも気を付けなければならない。食料危機も叫ばれ物価は上がる一方である。レギュラーガソリンはとうとう180円/リットルを超える勢いである。△「地球がこわれている」とよく言われるが、ならばこわれた地球をどう修復するのか。われわれが子孫のためにすぐできることは、日々の節約と無駄を省くことだろうと思ひ至る。△無駄な電気は使わない、車は必要時のみ、食べ物や水を大切にする、事故は不幸で無駄な出費を生じるので、事故を起こさないように丁寧に行動する。△皆が行えば巨大な力になる。無一物中無尽蔵ということばもある。ものより精神的な豊さを。丁寧に日常生活を送りたい(S.K)。

編集後記 今年も暑いです。なぜこんなに暑くなってしまったのでしょうか。今から来年が思いやられます。(S.O)

社会医療法人社団さつき会 / 社会福祉法人 さつき会



袖ヶ浦さつき台病院

〒299-0246 袖ヶ浦市長浦駅前5-21

■ 代表電話 0438-62-1113

外来予約センター

(日、祝祭日を除く / 受付時間8:30 ~ 16:00)

■ 直通電話 0438-60-1141

広報誌 事務局 総務課

袖ヶ浦さつき台病院

広報誌に関するお問い合わせ 0438-62-1113

袖ヶ浦さつき台病院

SEARCH

<http://www.satsuki-kai.or.jp/>

最新のお知らせは
ホームページを
ご覧下さい。

